



伝統と今を大切にする

堅川中だより

第5号

令和7年9月1日
墨田区立堅川中学校
発行 校長 稲垣 吉実

「非認知能力を高めよう」

あっという間に44日間の夏休みが過ぎ、9月に入りました。まだまだ暑い日々が続きそうですが、体調をしっかり整え、期末考査や連合陸上大会に向けて全力で文武両道に取り組んで欲しいと思います。

さて、今日は「非認知能力」について話したいと思います。

皆さんは、「非認知能力」という言葉を聞いたことがありますか。これは「学力テストなどでは数値化されない、子どもの将来や人生を豊かにする力」のことで、近年教育分野において特に注目を集めています。

人間の能力は、大きく「認知能力」と「非認知能力」の2種類に分けられます。

「認知能力」とは、IQ（知能指数）や偏差値に代表されるような、テストの点数などで数値化できる知的能力のことです。

一方「非認知能力」とは、認知能力以外の能力を広く示す言葉で、テストなどで数値化することが難しい内面的なスキルを指します。具体的には「目標を決めて取り組む」「意欲を見せる」「新しい発想をする」「周りの人と円滑なコミュニケーションをとる」といった力のことです。

非認知能力が高い人は、目標に向かって自己規律を持ち、困難な状況に対しても忍耐力を持って取り組む傾向があります。努力を継続し、挫折に屈しない姿勢を示すことができます。また、他者とのコミュニケーションにおいても優れたスキルをもっています。

非認知能力が高いと、成長するにつれて学力や進学率、就職率や年収、マイホーム購入率などが高まるとされています。企業の採用でも、今までは学歴や学力などが重視されていましたが、人生100年時代と呼ばれる現在、高い非認知能力を持つ人材が必要となっています。何歳になっても積極的に学ぼうという意欲のある人が求められているのです。中高年になっても怠惰な気持ちを持たないため、若い頃から学習する習慣を身につけるとよいでしょう。

また、人間の仕事の多くを、AI（人工知能）が代わりに行うようになりました。労働人口の49%の就いている仕事が、AIに代替可能だといわれています。そこで今後は、AIがカバーできない非認知能力の重要性が増してくるといわれています。是非、皆さんはこれからの社会に貢献できる人になるために、「非認知能力」を高めてほしいと思います。

今年度も、これから前期から後期に入っていきます。10月には1年生の野外体験や3年生の修学旅行といった宿泊行事や堅中フェスティバルや文化祭を行ったチーム堅中として頑張る行事が立て続けにあります。是非ここでも「非認知能力」を発揮して頑張りましょう。

堅中生の活躍紹介（夏休み編）

◎男子ソフトテニス部 東京都中学校総合体育大会 出場

団体戦 加藤 柊志、萩原 正崇、関谷 優斗、早川 優吾、阿部 航、三橋 凧紗、
林 駿太、棟方 琉斗

個人戦 加藤・萩原 組 阿部・三橋 組

◎女子ソフトテニス部 東京都中学校総合体育大会 出場

団体戦 齊藤 菜々海、竹田 美祐、高橋 茉愛、大下 空美、中野 美空、
片桐 由茉、松浦 歩来

◎男子バドミントン部 ブロック大会 出場

団体戦 青山 大地、川島 瑛太、今井 結斗、根岸 諒、義村 蓮、朝倉 千晃、
永野 由都、加藤 陽人

ダブルス 青山、今井 組 川島・根岸 組

◎女子バドミントン部 ブロック大会 出場

シングルス 安部 侑里

◎美術部 第53回我ら海の子展

銀賞：齋藤 美緒、米澤 美里

◎吹奏楽部 東京都中学校吹奏楽コンクール

B組 銀賞

9月の予定

1	月	夏季休業日後指導 避難訓練
2	火	
3	水	地理コンテスト 定例・代表委員会
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	生徒朝礼
9	火	
10	水	職員会議 NO 残業 DAY すみだいじめ防止の日 定期考査1週間前 諸活動停止期間始
11	木	
12	金	特支合同社会科見学(5)
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	
17	水	定期考査①
18	木	定期考査②
19	金	定期考査③ 安全指導 諸活動停止期間終
20	土	
21	日	
22	月	定例・代表委員会
23	火	秋分の日
24	水	中学校体験入学
25	木	
26	金	区連合陸上競技大会
27	土	
28	日	
29	月	生徒会役員選挙
30	火	

※ () 内の数字は学年や5組をあらわしています。 例 (5) : 5組

【1 学年】

1 日より授業が再開し、学校に生徒たちの活気が戻ってまいりました。少し日焼けをしたり、背が伸びたりして、ずいぶんと中学生らしくたくましくなった姿を見ることができ、学年教員一同大変嬉しく思います。1 年生にとっては、中学校で初めての夏休み。小学校の頃と比べて部活動などで登校する機会も多く、さらには宿題の量も増え、思っていたよりも忙しく感じられたのではないのでしょうか。夏休み中における大きな事故等の報告もなく、保護者の皆様におかれましては温かく子どもたちを見守ってくださり、誠にありがとうございました。引き続き本学年の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



↑ 左から、三者面談、夏季学習教室、学年登校日における宿題回収の様子です。

【2 学年】

夏休みが終わり、静かだった 2 年生のフロアにも笑顔と活気が戻ってきました。これから後期にかけて、文化祭や校外学習といった大きな行事があり、それに向けた準備や練習で忙しくなります。また、部活動や生徒会活動など、様々な場面で 2 年生が縦中の中心となっていきます。やるべきことが増えて大変ですが、前向きに挑戦する気持ちを忘れずに、一人ひとりが努力を積み重ね、2 年生全員で助け合って大きく成長できるような学年に育ててほしいと思います。



7 月の初めに実施した職場体験学習の写真です。生徒たちはこの行事を通して、働くことの大変さや達成感など、多くのことを学ぶことができました。お世話になった企業の皆様からは、ひたむきに働く生徒へ向けにお褒めの言葉をたくさんいただきました。丁寧なご指導とご協力本当にありがとうございました。

【3 学年】



44日に及び長い夏休みが、ついに明けました。

先日の学年登校日では、元気そうな顔が見られてほっとしました。

3年生にとっては、受験に向けて必死に戦った夏だったのではないかと思います。毎日のように塾に通う生徒、高校見学や説明会に行く生徒、志望校について考える生徒、また苦手分野の学習に力を入れて復習する生徒もいたようです。

苦手やできないことと向き合うのは、苦しいものです。逃げたい、避けたい…そんな気持ちになることもあるでしょう。そんな気持ちに打ち勝って頑張って取り組んだあなたはえらいです。

夏休みがあげ、またすぐに定期考査も行われます。気合は十分ですか？

「どうやったら成績が上がりますか？」これは面談などで何人かに聞かれた質問です。

成績は、単純にテストの点数でつけられるものではありません。しかし、テストの点数は、成績をつける際の確固たる資料となります。まずは確実に得点を取っていくこと、「知識・技能」「思考・判断・表現」の力を発揮する、それを意識してはいかがでしょうか。

夏休みが明け、日常が始まります。テスト以外でも、修学旅行・文化祭も控えています。生活のペースを戻し、充実した毎日を送れるようにしましょう。

【5 組】

長い夏休みが終わり、9月の学校生活がスタートしました。教室には笑顔や活気があふれていて、友だちとの再会や学習活動の再開を心待ちにしていた様子が見られます。

5組は9・10月に行事がたくさんあり、「区合同社会科見学」「区連合陸上競技大会」「野外体験活動」「都陸上競技大会」「豎中フェスティバル」「修学旅行」「都内めぐり」「文化祭」と続き、それぞれの事前学習・本番・事後学習など、取り組むことが多くあります。日常の授業に加えて、行事を通しての学習や経験は新たな成長につながります。一日一日、一瞬一瞬を大切に過ごし、楽しみ、今後も一人一人が大きく成長していくことと期待しています。

【食育】

赤色から思い浮かぶ味は何でしょうか。唐辛子の辛さかもしれません。いちごの甘酸っぱさかもしれません。人それぞれの経験によるものだそうです。

夏休み中、普段はできないような長時間の研修をします。今年度は「味わうこと」について大学の先生の講義を受けてきました。今までのいろいろな経験や触れている文化によって味わい方や感じ方につながるようです。文化の違いの一例では、日本人は蜂蜜を甘いイメージしますが、フランスでは甘さに加えて酸っぱさもイメージするそうです。

子供は味わうための経験を今まさに蓄積しているところです。幼児期よりも小学生、中学生と食べられる幅が広がりますし、広げる手助けも必要かと思います。身近な、一般的に出会いやすい食品をいろいろな切り口で、給食で経験してもらえるように、9月からもよろしくお願いします。